

あなたと市議会



「新しいはじまり」

横手清陵学院高等学校3年 さかもと ゆうな
坂本 悠奈さん

主な内容

定例会ピックアップ … 2	委員会審査報告 …… 5
11月臨時会の概要 …… 8	一般質問 …… 9
ぎかいトピックス …… 14	

作品のこだわりポイント！

窓辺に立つ少女を色鮮やかな花々が包み込む。別れの寂しさを胸に、春の光へと踏み出す勇気を描きました。大切な思い出を饞はなむけに4月からの新しい場所もあなたらしく咲き誇れますように。そんな願いを込めた一枚です。

ゆとりおん大雄の廃止条例案は否決 陳情8件の採択を受けて 意見書6件を国等に提出

議案第114号 横手市大雄ふるさとセンター設置条例を廃止する条例

議案第114号は、横手市大雄ふるさとセンター（市営温泉施設ゆとりおん大雄）を令和7年度末で廃止するための条例案でした。

本会議最終日、反対討論と賛成討論がそれぞれ行われ、起立採決の結果、起立少数で否決されました。

討論

反対

寿松木孝議員より、「ゆとりおん大雄は長年地域の拠り所として地域住民に利用されているが、市は経営状況を理由に一方的に廃止の方針を進めている。地域住民向けの説明会が2回開催されたが、一方的な説明で全く理解されていない。市の強引な施設廃止の方針に反対する」との討論がありました。

賛成

江上善一議員より、「施設は老朽化が著しく、今後の運営を考えたとき相当の財政負担が生じる。人口減少に伴い利用客数も減少し、経営環境も年々厳しくなる。また、年間約5千万円という莫大な赤字は、年々増加することも予想される。本案は施設の廃止のみならず、限られた市の財源をどのように分配するかという重要な判断と考え、賛成する」との討論がありました。

賛成

宮川拓也議員より、「大雄地域の方々の想いは重く受け止めるが、我々は市全体の市営温泉施設の将来を見据えた判断をする必要がある。ゆとりおん大雄の経営状況を見れば廃止はやむを得ない状態にあり、本案の判断により市内のほかの温泉施設が失われることのないよう計画を進めるべきであり、賛成する」との討論がありました。

12月定例会は12月2日から12月19日までの日程で開催されました。審議した案件の中から、特に注目する内容について取り上げます。

議案第114号は、産業建設常任委員会において審査が行われていきます。詳しくは6ページをご覧ください。



市が廃止の方針を示しているゆとりおん大雄

解説

ゆとりおん大雄の廃止と新たな地域活性化策とは

ゆとりおん大雄は、平成4年に旧大雄村が開設した温泉施設です。市町村合併後は市が経営を引き継いでいますが、開設から33年が経過し、外壁や設備などの老朽化が目立つようになっていきます。このため市では、ゆとりおん大雄を廃止し、新たな地域活性化策に取り組むことを住民説明会において説明していますが、具体的な内容は決まっています。

討論

反対

寿松木孝議員より、「地域住民は数年前から施設修繕の要望をしている。市は、新たな体育館に建て替えるとしているが、計画も財源も何も決まっていない。私のこれまでの議員経験から、今期中にとも完了できるとは思えないため、反対する」との討論がありました。

議案第111号 横手市農業者トレーニングセンター設置条例の一部を改正する条例

議案第111号は、横手市農業者トレーニングセンター（大雄トレーニングセンター）を令和7年度末に廃止するための条例改正案でした。

本会議最終日、反対討論が行われ、起立採決の結果、起立多数で可決されました。

議案第111号は、総務文教常任委員会において審査が行われていません。詳しくは7ページをご覧ください。



解説

大雄トレーニングセンターの廃止と新たな体育館の整備

大雄トレーニングセンターは、昭和53年に設置された屋内体育施設ですが、設置から47年が経過し、設備の老朽化や雨漏りが発生するなど、耐用年数が過ぎた建物となっています。このためでは、大雄トレーニングセンターを廃止し、新たな屋内体育施設を設置する方針を示していますが、詳細な計画は決まっています。

◆大森浄化センターに関わる議案及び議会案について

議案第134号 横手市大森浄化センターの施設性能等に関する第三者委員会設置条例

議案第134号は、現在も稼働していない横手市大森浄化センターについて、補修工事の妥当性や施設性能などを客観的に評価する第三者委員会を設置するための条例でした。

本会議最終日、反対討論が行われ、起立採決の結果、起立多数で可決されました。

討論

反対

寿松木孝議員より、「第三者委員会の設置と施設性能の調査自体には異論はない。ただ、土木学会に委員の推選依頼をすることは、土木部分のみの調査となり、施設全体の評価に懸念がある。また、市の事務処理や受注者の責任を明らかにすることが求められるが、その機能を有しないままでの委員会設置には反対する」との討論がありました。

議会案第7号 議案第134号「横手市大森浄化センターの施設性能等に関する第三者委員会設置条例」に対する附帯決議

議会案第7号は、議案第134号により設置される第三者委員会による施設の健全性についての調査だけでは不十分であり、事務執行の検証並びに発注者、設計監理者及び施工業者を含めた責任の所在などの検証も確実に行われる必要があることを求める附帯決議案でした。本会議最終日、7名の議員により提案され、起立採決の結果、起立多数で可決されました。

解説

大森浄化センターとは？

大森浄化センターは、大森町湯の島に新たに建設された下水処理施設ですが、建物の基礎となる水槽部分に複数の施工不良が確認されました。令和3年3月に着工し、本来令和5年度中に供用開始となる予定でしたが、水槽の補修工事に時間を要し、補修工事が完了したのは令和7年6月のことでした。また、議会では施工不良が多数発生したことや市の工事監督体制などを問題視し、「大森浄化センター整備事業に係る調査特別委員会」を設置し、令和5年9月から令和7年8月まで調査を行いました。しかしながら、客観的に施設の安全性が確認されていないとして、令和7年9月定例会で提案された施設を稼働させるための条例案を反対多数で否決しており、現在も施設は稼働されていません。

第三者委員会の設置条例案と予算案は、11月臨時会でも提案されたんだけど、性急な案ということで否決されたんだ。12月定例会の条例案では、「施設全体の安全性の検証」を目的とする文言が追加されたんだよ。それと、予算案は令和8年3月までの委員会を開催するための最低限の費用を盛り込むように変更されたんだよ。



議案や附帯決議の全文はこちらからご覧いただけます



賛否が分かれた議案と審議結果

・採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。他は全会一致で可決されました。
○：賛成 ●：反対 ※菅原正志議長は採決に加わりません。

案件名	議案第111号 横手市農業者トレーニングセンター設置条例の部を改正する条例	議案第114号 横手市大雄ふるさとセンター設置条例を廃止する条例	議案第134号 横手市大森浄化センターの施設性能等に関する第二者委員会設置条例	議案第135号 横手市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	議案第140号 令和7年度横手市一般会計補正予算(第8号)	議案第145号 令和7年度横手市下水道事業会計補正予算(第2号)	陳情第8号	陳情第9号	陳情第10号	陳情第7号	陳情第7号	陳情第7号	陳情第7号	陳情第7号	陳情第7号	議案第7号	議案第8号	議案第10号	議案第12号	議案第13号
							夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現のため国に意見書提出を求める陳情	ケア労働者の処遇改善のため、報酬10%以上引き上げを求め国に意見書提出を求める陳情	物価上昇に見合う年金の改善を求める陳情	所得税法第56条の廃止を認める陳情	家族従業者の働き分を経費として認めない陳情	最高裁判決に基づきすべての生活保護利用者に対する速やかな被害回復措置を求める陳情	「小・中学校給食費の完全無償化」のため、秋田県へ財政支援を求める意見書提出の陳情	よこてイースト駐車場無料利用時間延長に関する陳情書	学校給食費の保護者負担を無償化することについての陳情	議案第134号横手市大森浄化センターの施設性能等に関する第二者委員会設置条例に対する附帯決議	夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現を求める意見書	所得税法第56条の廃止を求める意見書	最高裁判決に基づきすべての生活保護利用者に対する速やかな被害回復措置を求める意見書	「小・中学校給食費の完全無償化」のため、秋田県へ財政支援を求める意見書
議決結果	原案可決	否決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	採択	不採択	不採択	採択	採択	採択	採択	採択	採択	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決
表決数	賛成 15 反対 6	6	17	19	17	20	20	8	7	20	20	19	13	18	19	20	20	20	20	19
市民の会	石岡恵美子	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	江上 善一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	菅原 正志	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
	大日向香輝	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	菅原 恵悦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さきがけ	佐藤 誠洋	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	築山 智	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	青山 豊	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	石川 拓也	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新政会	加藤 司	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	土谷 久男	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小野 正伸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	加藤 雄太	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
創成の会	柴田 忍	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	加藤 勝義	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	本間 利博	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公明党	宮川 拓也	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	土田百合子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日本共産党	井上 忠征	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	立身万千子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
青風会	高橋 聖悟	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

採 択

- ◆陳情7第8号 夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現のため国に意見書提出を求める陳情
(秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 奥井 明子氏)
- ◆陳情7第11号 インボイス制度の廃止をめざし、事業者の負担を軽減する経過措置を継続するよう求める意見書を国に送付することを求める陳情
(秋田県商工団体連合会 会長 小玉 正憲氏)
- ◆陳情7第12号 家族従業者の働き分を経費として認めない所得税法第56条の廃止を求める陳情
(秋田県商工団体連合会婦人部協議会 会長 布施 コリ子氏)

陳情の審査結果

- ◆陳情7第14号「介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める」国への意見書提出を求める陳情書
- ◆陳情7第15号 最高裁判決に基づきすべての生活保護利用者に対する速やかな被害回復措置を求める国への意見書提出の陳情書
- ◆陳情7第16号「小・中学校給食費の完全無償化」のため、秋田県へ財政支援を求める意見書提出の陳情
(秋田県社会保障推進協議会 会長 佐藤 幸美氏)
- ◆陳情7第18号 よこてイースト駐車場無料利用時間延長に関する陳情書
(高橋 健二氏)

- ◆陳情7第19号 学校給食費の保護者負担を無償化することについての陳情
(学校給食費無償化を求める横手市民の会 高階 泰子氏)

不採 択

- ◆陳情7第9号 ケア労働者の処遇改善のため、報酬10%以上引き上げを求め国に意見書提出を求める陳情
(秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 奥井 明子氏 他1名)
- ◆陳情7第10号 物価上昇に見合う年金の改善を求める陳情
(全日本年金者組合横手支部 支部長 佐々木 章氏)

厚生常任委員会

子育て・市民福祉の 今後の方向性は

Check!

こども誰でも通園制度の
見直しは？

◆横手市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

問 3歳未満の未就園児は、全国的に約6割いるというデータがある中で、横手市ではどれくらいいるのか。

答 おおよそ300人ほどいると見込んでいます。どのくらいの方がこの事業を利用するかについては推計中であり、需要と供給のバランスを見極めて計画に盛り込みたい。

問 第4条及び第5条の最低基準に関する規定については、人員配置や経営の部分を考慮すると、事業者にとって負担になるのではないかと考えるがどうか。

答 実施意向がある事業者は、現状の施設定員に空きがある部分を活用する余裕活用型での実施を検討しており、既に人員配置や設備等の基準を十分に満たしているため、心配はないと考えている。

Check!

ペットボトルの処理は間に
合うか？

◆工事請負契約の締結について(ペットボトル等処理施設建設工事(建築本体工事)ほか1件)

問 圧縮梱包機は特殊な機械であると思われるが、一般的なインターネット上での入札情報だけではなく、特定の事業

者などに対してアプローチを行ったのか。

答 かなり特殊な機械であるため、まずは庁内での選定委員会を開催し、メーカーを選定した。市内にはそのメーカーを取り扱う事業者は2者しかいなかったため、県内15者を対象に条件付き一般競争入札を実施したところである。また本来であれば、1億円を超える工事はJV[※]による契約となるが、今回の工事は機械の製作費が工事費の大半を占めるため、単独事業者との契約とした。

問 ペットボトルやプラスチックごみが年々増えてきており、その処理が追いつかないということだが、施設が新しくなることによる影響は。

答 収集量の前年度年間実績はペットボトルが212トン、プラスチック製容器包装類が182トンだった。

新しい圧縮梱包機を設置することにより、ペットボトルは1日1・2トン、製品プラスチックとプラスチック製容器包装類を合わせて1日1・4トンの処理が可能となり、単純計算をしても十分に

に対応できるため、余裕を持って処理できるようになる
と考える。



現在稼働している
ペットボトル圧縮梱包機

Check!

あったか灯油助成事業の
内容に変更はあるのか？

◆一般会計補正予算(第8号)

問 今回から住民税非課税世帯に対し、1世帯あたり6100円を助成することのだが、対象世帯数に変動はあるのか。また助成額をこの金額で設定した根拠は。

答 これまでは、住民税非課税世帯のうち対象を高齢者世帯、重度障がい者がいる世帯、ひとり親世帯などに限定していたため、対象世帯数は6千弱ほどであった。今回から対象を全ての住民税非課税世帯としており、9800世帯を見込んでいます。また助成額については、県の事業に合わせたものである。



適切な物価高騰対策が
求められている

厚生
常任委員

- 加藤 雄太
- 立身万千子
- 菅原 恵悦
- 青山 豊
- 宮川 拓也
- 井上 忠征
- 石岡恵美子

産業建設常任委員会

市民の声を置き去りにした ゆとりおん大雄の廃止判断

Check!
ゆとりおん大雄は廃止するの？

◆横手市大雄ふるさとセンター設置
条例を廃止する条例

問 まだ住民の理解が進んでいない。温泉が出ないという状況でもなく、利用者も多いが廃止に向かって進むのか。

答 平成28年の温泉の在り方・再編方針策定以降、市は温泉運営に携わらず、民間へのシフトを推進するという方針を進めてきた。アンケート結果や様々なデータをもとに総合的に判断した結果である。

問 代替となる地域の活性化策を示していない中で、廃止するのはいかがかと思うが、住民に対してどの程度納得してもらっているかと判断しているのか。

答 説明会や市長の所信説明においても数回にわたり伝えていた。利用している方には納得いただいている。いかかもしれないが、市の方向性として鶴ヶ池荘・ゆつぷる・さくら荘の3つの温泉には市が携わっていくことで進めてきた。

問 丁寧に市民に説明して、大雄地域をどのようにするか、温泉をどうしていくのかもっと真剣に考えてから廃止条例を提案するのが順番ではないか。

答 公共温泉の運営に伴う赤字には多額の公費を投入し続けており、民間業者からの批判もあり、温泉の経営改革に取り組んできた。ゆとりおん大雄については、2度民間譲渡の

公募を行ったが、引き受け業者がいなかったことから、今回廃止条例を提案した。



老朽化が進む
ゆとりおん大雄

Check!
大森浄化センターはどうなるの？

◆横手市大森浄化センターの施設性能等に関する第三者委員会設置条例

問 第三者委員会の設置については、補修工事や施設性能などの可否を検証するものであるが、施工不良に至った原因や発注者、受注者の責任の検証も両建てで行う必要がある。行う予定はあるか。

答 施設がそのまま使えるのか、それとも補修しなければいけないのか、全く使えないのか判断された上で、今後この施設をどうしていくのか提言していただくことになっている。内部の責任については、担当職員の処分はこの後行っていくことになるが、必ずしも第三者委員会が終了してからということではなく、途中から始まる可能性もある。

問 施設性能の検証部分については、できるだけ公平性を保とうとしているところでは分かったが、責任の所在

がはっきりしなければ費用を出す段階で争点になるのではないか。

答 修繕が必要となった場合の費用負担については、原因がはっきりしてこそ求められるものだと考えている。仮に市で負担することになった場合は、予算を議会に諮ることになる。

Check!
ロードヒーティングの電気料金の根拠は

◆一般会計補正予算(第8号)

問 山内地域鶴ヶ池線のロードヒーティングの電源の切り忘れから生じた電気料金分として、360万円が計上されている。確定ではないとのことだが、電力会社から示された金額をそのまま計上したということか。またその根拠は。

答 契約期間外である3月31日から12月2日までの電力使用量の概算金額である。なお、降雪期と同様に電力使用量に23円11銭を掛けた金額であり、これに燃料費等調整額などを加えた上で正式な金額になる。また、減免制度や支払猶予制度もないため、支払いが遅れれば延滞金も発生すると聞いている。

産業建設
常任委員

- 大日向香輝
- 加藤 司
- 寿松木 孝
- 加藤 勝義
- 江上 善一
- 小野 正伸
- 築山 智

総務文教常任委員会

新体育館建設工事の 増額補正は妥当か

Check!
横手市立体育館建設工事の増額補正1億5千万円の中身は

◆一般会計補正予算（第8号）

問 設計変更の内容について伺う

答 当初設計額は、101億4310万円だったが、補正するための算定は、103億40万円という積算をしており、その差額が1億5千万円ということである。工事の金額が大きいところは建築工事で軟弱地盤への対応のほか、安全対策に関わるものも含まれる。電気工事については、A1カメラや音響設備など利便性向上に係るものに増額されている。

問 増額が必要であれば、*スライド条項の法律に基づく増額方法が正しいと思うが、今回スライド条項を適用しないのは非常にイレギュラーなやり方だ。軟弱地盤や安全対策などは11月にならないと補正が出せない中身ではない。今になってこのような形で提案することは非常に不透明に感じるがどうか。

答 市でこれまで行ってきた工事や変更契約では、スライド条項を適用することはまれなものである。今回は、受注者側でスライド条項を使うつもりはないとのことであった。実際にスライド条項を適用すれば確認などに2、3カ月要すると言われており、

令和8年3月に完成を目指している段階に一旦工事を止め、積算や確認を行うことは受注者側も望んでおらず、変更内容を精査し現在に至っている。

討論

反対 今の予算計上のやり方、流れがイレギュラーであり不透明であるという点からこの予算案に反対する。

可

起立採決の結果、起立多数により原案のとおり可決すべきものとして決定しました。



建設中の横手市立体育館（赤坂館ノ下）

Check!

大雄トレーニングセンターの廃止について冷静に判断を

◆横手市農業者トレーニングセンター設置条例の一部を改正する条例

問 大雄トレーニングセンターは使用率が高く、建て替えずとも修繕を希望すると地元住民も言っている。廃止から新たな体育館が整備されるまでの期間など、詳細な計画を明示

することはできるか。

答 現時点で、詳細な計画まで示すことはできない。耐用年数が過ぎていくことから、継続して使用できる年数は相当短いと推測される。

新たな体育館は、令和7年度中に大雄地域の方からの意見を集約し、計画立案の予定である。

討論

反対 令和8年4月1日に廃止する合理的な根拠が見つからないことから、反対する。

賛成 早く次の段階に進むための計画や話し合いを進めることを前提とし、賛成する。

可

起立採決の結果、起立多数により原案のとおり可決すべきものとして決定しました。



老朽化が進む大雄トレーニングセンター

総務文教
常任委員

- 土田百合子
- 石川 拓也
- 佐藤 誠洋
- 高橋 聖悟
- 柴田 忍
- 土谷 久男
- 本間 利博

賛否が分かれた議案と審議結果

- ・採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。他は全会一致で可決されました。
- ：賛成 ●：反対 ※菅原正志議長は採決に加わりません。

会派・議員名	案件名	議案第103号	議案第104号
		横手市大森浄化センターの健全性に関する第三者委員会設置条例	令和7年度横手市下水道事業会計補正予算(第1号)
議決結果		否決	否決
表決数	賛成	2	2
	反対	19	19
市民の会	石岡恵美子	●	●
	江上 善一	●	●
	菅原 正志	※	※
	大日向香輝	●	●
	菅原 恵悦	●	●
さきがけ	佐藤 誠洋	●	●
	築山 智	●	●
	青山 豊	●	●
	石川 拓也	●	●
新政会	加藤 司	●	●
	土谷 久男	●	●
	小野 正伸	●	●
	加藤 雄太	●	●
創成の会	柴田 忍	●	●
	加藤 勝義	●	●
	本間 利博	●	●
公明党	宮川 拓也	●	●
	土田百合子	○	○
日本共産党	井上 忠征	○	○
	立身万千子	●	●
青風会	高橋 聖悟	●	●



審議された議案の概要は、横手市議会ホームページからご確認いただけます。



百条委員会の報告書はこちらからご覧ください。



監査委員による監査報告書はこちらからご覧ください。



現在も稼働していない大森浄化センター

主な審議の内容

11月4日に開催された11月臨時会において、横手市大森浄化センターの健全性に関する第三者委員会設置条例及び関連する補正予算を否決

■横手市大森浄化センターの健全性に関する第三者委員会設置条例(議案第103号)及び令和7年度横手市下水道事業会計補正予算(第1号)(議案第104号)

議案第103号は、大森浄化センターの建物の健全性を客観的に示すため第三者委員会を設置するための条例案、議案第104号は第三者委員会に係る経費を計上した補正予算案でした。「第三者委員会の客観性が確保されていないのではないか」などの質疑が行われ、採決の結果、いずれも起立少数で否決されました。

常任委員会・予算決算委員会分科会 審査報告

大森浄化センターに係る条例案と予算案については、産業建設常任委員会及び予算決算委員会産業建設分科会において詳しく審査が行われました。それぞれ反対討論が行われ、いずれも起立なしにより否決されています。

議案第103号

討論 反対

「決して第三者委員会をつくるなどということではなく、市民の安全性、施設の健全性を求めながら条例をつくってほしい。このままでは拙速である。特に、学識経験者の委員を5人以内で組織するという説明があったが、誰を委員にするのか、はっきり分かった上での条例決定のほうがよいと考え反対する」

議案第104号

討論 反対

「5,400万円の算出根拠がよく分からないまま高額な予算を可決してもいいのか非常に疑問が残る。専門家に相談のうえ、もう一度提案していただきたい。条例が否決されたこともあり、関連予算も反対する」

ココが聞きたい！

8名の議員が市政を問う



12月10～12日に一般質問が行われ、8名の議員が市民の皆さんの生活にかかわる行政全般について質問をしました。

一般質問の様子は、インターネットでライブ中継しています。また、一部を横手かまくらFMで生放送するほか、市議会ホームページで全ての一般質問を録画中継でご覧いただけます。

二次元コードを読み取ると、動画をご覧いただけます。



◆ 石岡恵美子 議員 … 経鼻インフルエンザワクチン補助の増額を

10ページ

◆ 佐藤 誠洋 議員 … 市民1人あたり所得のUPに全力を

◆ 土谷 久男 議員 … 防災行政無線の今後の対応について

11ページ

◆ 加藤 勝義 議員 … 今冬の除雪オペレーターは確保できたか

◆ 井上 忠征 議員 … 物価高騰対策事業は何を予定しているのか？

12ページ

◆ 立身万千子 議員 … 市民が分かりやすい窓口の整備を！

◆ 本間 利博 議員 … 「横手市鳥獣対策室」の設置を求む

13ページ

◆ 土田百合子 議員 … クマ被害対策の強化を！

石岡 恵美子 議員

いしおか えみこ



経鼻インフルエンザ ワクチン補助の増額を

問 経鼻ワクチンは従来と比べ、痛みがなくて一回接種で済み、子どもの負担を軽減する。しかし、接種費用が7千円〜9千円と高額で、接種の障壁となる。接種率向上と子育て支援の観点から補助額を注

射2回分の3千円まで引き上げ、市民が選びやすい環境を求めます。また、接種率の低さを改善するため、SNS、リーフレット等を活用した積極的な周知啓発も求めます。

答 経鼻ワクチンの有効性は認識しており、接種率向上は重要な課題と捉えている。経済的負担軽減のため、補助額の引き上げについて検討する。また、医療機関と連携し、周知啓発に努める。

問 将来の担い手確保と報酬制度を見直し、ICT活用による負担軽減、環境整備を検討する。また緊急時の情報については、防災行政無線やSNSなど複数の手段を用いて、迅速かつ確実に伝わるよう改善を図る。

問 猟友会の体制維持が必要である。報酬見直しや環境整備を含む中長期的な人材確保策の構築を求めます。また先日緊急銃猟の際、

情報伝達の部分で懸念事項があった。平時から緊急銃猟に関する周知を行い、安全文化を構築し、さらに緊急時の情報伝達システムの改善、市民の命を守る体制強化を求めます。



鼻からシュツ！
痛くない予防接種

佐藤 誠洋 議員

さとう まこと



市民1人あたり所得のUPに全力を

所得のUPに全力を

問 令和4年度横手市民一人あたりの所得は、県内で第8位の261万8千円で、県平均の94.5%。仙台市の86.1%。東京都の43.4%である。目標額を定めて、施策展開すべきと思うが。

問 現在の市の商工計画は古すぎるデータで計画書の体を成していない。市が独自に主導的にできる対策として「水道料金の基本料金の免除」を提案する。物価高に苦しむ市民を助けるべく更なる対策をすべきではないのか。

答 現在、市民所得に関する具体的目標値は設定していない。所得向上のための施策等については、引き続き検討していく。

答 市の上水道利用者は市民の約8割。全体的な公平性、財源の確保、対策の効果などの課題がある。今後検討をしていきたい。

問 市民所得向上に向け、市経済の健康診断たる「横手市産業連関表」を定期的に作成し、官民一体で「横手市経済戦略ビジョン」を策定・推進するべきではないか。

問 現在も物価の高騰に苦しむ市民への対策について、その目標をどう考えているのか。

答 市で産業連関表の作成はしていないが、独自に経済構造の分析を行い、個々の課題に取り組んでいる。

答 今年度は「第2次商工業振興計画」を策定中である。関係機

自治体名	人口(人)	一人当たり市民所得(千円)	秋田県平均を100とした場合の比率(%)
秋田県平均	929,901	2,769	-
由利本荘市	72,514	3,064	110.6
秋田市	303,048	3,030	109.3
横手市	82,485	2,618	94.5
大仙市	74,987	2,577	93.0
湯沢市	40,225	2,463	88.9

自治体名	人口(人)	一人当たり市民所得(千円)	それぞれを100として横手市と比較した比率(%)
東京都平均		6,037	43.4
仙台市		3,041	86.1

上段は令和4年度秋田県市町村民経済計算より抜粋
下段は佐藤誠洋議員が算出したもの

土谷 久男議員

じやま ひやお



防災行政無線の今後の対応について



問 市は防災無線を廃止し、全てをFMラジオに切り替える方針のようだが、全市共通の対応でいいのか。地域性を考慮する必要があるのか。

答 現在の防災行政無線は、大森地域と山内地域で運用している。防災行政無線の設備を更新する予定はないが、現在使用している機器が利用可能な限り使用していく。消防庁が作成した「災害伝達手段の整備等に関する手引き」では、災害情報伝達には複数の手段を組み合わせる事が重要とされている。市としても防災ラジオに加え、よこて安全・安心メール、緊急速報メール、市ホームページ、各種SNS、NHKのデータ放送などを活用し、防災情報の発信に努めている。なお、各種情報ツールの受信環境における地域差は、ほぼなくなってきたものと認識しており、市内全域に一齐に防災情

報を発信できる現在の手法を今後も継続したいと考えている。

問 「地域差はほぼなくなっている」とのことだが、山内地域では家の中でも携帯電話の電波が届かない地域が数箇所あり、安全・安心メールもSNSも届かない場所がある。FM放送が入らない場所は把握できているか。

答 ラジオの難聴地域は数年前に調査を行い、市内にいくつかあることを把握している。

■その他の質問

●クマの対策について



現在、山内地域、大森地域にある防災行政無線

加藤 勝義議員

かとう かつよし



今冬の除雪オペレーターは確保できたか



問 除雪オペレーターの皆さんには、早朝の厳しい寒さの中で、厳冬の日常生活を支えていただいている。今シーズンの直営オペレーターは確保できたか。

答 必要人数の210名に対し、184名の採用である。除雪作業は基本的に2名乗車だが、バックモニターなど安全装備を搭載することで、一部は1名乗車でも対応している。今後、担い手確保対策に取り組みながら業者委託に切り替えてつ、持続可能な除排雪体制の構築を目指す。

問 オペレーターの除雪業務の取組意欲や除雪技術の向上と、後進の育成強化などを目的とし、除雪オペレーター表彰制度を制定してはどうか。

答 表彰制度の導入は、様々な面で効果が期待できる。受託業者やオペレーターからの意見聴取や近隣自治体の実施状況などを調査

し、導入に向けて検討を進める。

問 県内では、マップとGPSを利用し、WEBサイトでリアルタイムに除雪車稼働状況を発信している自治体がある。当市でも実施すべきと思うが。

答 他自治体もやっているから当市もということにはならない。他自治体とは雪の量が違う。今後も試行錯誤しながら、よりよい体制づくりに邁進していく。「意見はご意見として伺っておくが、しっかりと勉強していく。」



市除雪車による排雪作業の様子

井上 忠征議員

いのうえ ちづせい



物価高騰対策事業は 何を予定しているのか？



問 政府は物価高騰に対する支援策として、地方自治体へ重点支援交付金を予定しているが、市では交付金を活用して、どのような事業を予定しているのか。

答 現時点では、低所得者世帯を対象に灯油購入費補助や、子育て世帯へ学校給食費の補助、プレミアム付き商品券の発行などを検討している。事業者向けには、幅広い施策について検討を進めている。

●都市計画道路「横手中央線」について

問 未整備区間については、一向に動く気配がないが、進捗状況はどうか。

答 横手神明社から横山町交差点までの700メートルの区間については重要な路線と認識している。最大の課題である北上線の踏切については、JRへ複数の整備手法を提示しているが、大きな進展は見られない状況にある。引き

続き検討を進める。

●スクラップヤード事業者への対応について

問 地域住民の安全安心を守るために、市はどう対応するのか。

答 いわゆるヤードでの再生資源物の不適切な管理により、市民生活に悪影響を与え、支障をきたしている他県の事案については把握している。横手市環境保全条例のもと、県や関係機関と情報共有を図り適切な監督・指導・見廻り強化に努める。



市はプレミアム付き商品券の発行を検討中

立身 万千子議員

たちみ まちこ



市民が分かりやすい 窓口の整備を！



問 書^{*}かないワンストップ窓口の体制整備について伺う。

答 来庁される市民が移動せずに対応できる窓口とし、どの職員が対応しても均質なサービスが提供できる体制を構築していく。

問 本庁舎1階フロアに案内職員を配置できないか。

答 窓口のワンストップ化を進めるうえで、各階の案内や番号券機^{*}の操作補助などの際、職員を1階正面入口に配置し、案内業務を担当することを想定している。

●行政情報の適切な伝達について

問 道路の拡幅工事などで先日市民生活に支障をきたす事故が発生した。国・県・業者との連携はどのようになっているのか。

答 国・県との連携を密にし、業者への指導徹底に努めていく。

●ゆとりおん大雄の廃止について

問 令和5年9月定例会において、ゆとりおん大雄の存続を要望

する陳情が採択されたが、市長は要望署名に対し「声なき声が大切」と発言した。その真意を問う。

答 市民アンケートで、「市の関与は3施設以下」との回答が3分の2以上であったこと、地理的条件や様々なデータ分析、今後の設備等の改修費用などを総合的に判断した結果、ゆつぷる・さくら荘・鶴ヶ池荘を市が関与する施設とした。ゆとりおん大雄の廃止は、市民や議会と幾度も協議した結果であることをご理解いただきたい。



本庁舎1階窓口の様子

※書かないワンストップ窓口…マイナンバーカードなどを提示することで各種申請書の記入が不要となるとともに、来庁者が移動することなく行政手続きを終えることができる窓口のこと

本間 利博議員

ほんま としひろ



「横手市鳥獣対策室」の設置を求む

問 今年のクマの出没は異常であり、市民生活に大きな影響が出ている。出没した際の対応だけでなく、総合的な対策が求められている。クマ対策を強化するために「鳥獣対策室」の設置を要望する。

答 現在設置している「横手市ツキノワグマ対策会議」では、災害対策部に相当する会議体として情報の共有、対応方針の決定などを行っている。国や県の動向、各課各公共施設の対応状況について情報の共有を行い、全庁を挙げて体制を整え、通学路を中心とした広報パトロールを実施してきた。対策会議を継続し、必要な見直しも含め、引き続き市民の安全確保に努める。

●横手体育館について

問 現在の横手体育館は解体予定だが、使える間は屋内施設として整備・使用してはどうか。

答 新体育館の予約状況が大変

好調で、新旧施設の並行稼働期間について熟慮している。解体に取りかかるまでの一定期間、横手体育館を継続して活用することについて検討する。

●住民と除雪オペレーターとの意見交換について

問 降雪期前の地域住民と除雪オペレーターとの意見交換会は雪対策に重要と考えるが実績はどうか。

答 一部地域にとどまっているが、より良い除排雪作業につながると考える。地域の実情に配慮した取組を推進していく。



蛇の崎川原で実施された緊急銃猟

土田 百合子議員

つちだ ゆりこ



クマ被害対策の強化を！

問 「クマ被害対策本部」を立ち上げ対策を強化するべきではないか。

答 村田副市長を本部長とし、各部長及び各地域局長などで構成する「横手市ツキノワグマ対策会議」の体制を継続していきたい。

●専門職員の「公務員ハンター」確保を進めるべきと考えるが。

答 現時点では、専任の公務員ハンターを採用することは考えていないが、新たな制度を活用し、鳥獣対策に資する人材の裾野を広げていきたい。

●書かない窓口の内容は

問 「書かないワンストップ窓口」の開始について伺う。

答 令和8年度以降、複数の手続きを1カ所の窓口でまとめて行い、来庁者が座って手続きができるローカライズ化や様々な相談を1階フロアで完結できるようにハード面の整備も検討していく。

●男性へのHPV*ワクチン接種の

助成ついて

問 9価HPVワクチンが男性にも承認されたが、4価ワクチンと同様に全額助成されるかどうか。

答 ワクチンの種類を問わず、女性同様に費用の助成を続ける。

●国道13号横手北道路4車線化に伴う工事について伺う

問 七日市住宅前道路整備と急勾配の改善を求めたいがどうか。

答 事業主体である国土交通省湯沢河川国道事務所と連携を図りながら、事業の進捗に協力する。



書かない窓口の先進事例 (網走市役所)

*HPVワクチン…子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルスの感染を防ぐ予防接種に用いられるワクチンのこと。男性も中咽頭がんや肛門がんなどの感染予防効果が期待できる。

「市民と議会の懇談会」 随時申込受付中！

「市民と議会の懇談会」は、お住まいの地区のこんなことや、横手の未来のあんなことについて、団体・サークルなどと議員が、あらかじめ定めたテーマに沿った内容で意見交換するものです。

■開催対象

概ね 10 人以上の参加が可能な横手市内の団体やグループ

■開催時間・場所

ご相談の上決定します。
開催時間は 1 時間～ 2 時間程度です。

■テーマ

1. 市政に関すること 2. 市議会に関すること
のいずれかに該当するテーマでお申込みください

●お問い合わせ先 横手市議会事務局

〒013-8601 横手市中央町 8-2
TEL 0182-32-2535 FAX 0182-32-6539

お気軽にお問い合わせ
くださいね！

お申込みは
こちらから



令和 6 年
1 月 30 日



JA 秋田ふるさと青年部との懇談会の様子
テーマ：若手農業者への政策支援について

ゆう せん だい がく 雄川大学の皆さん

12月11日、雄物川地域の雄川大学の皆さん16名が、市議会の取組を今後の活動の参考とするため、一般質問の傍聴にいらっしやいました。

新生チーム横手市議会
でこれからの横手を
どう進めていくの
か期待している。



ささき
佐々木 ケイ子 さん
(雄川大学運営委員長)



一般質問を聞いて、
議員は随分勉強をして
いると感じた。



さとう よういち
佐藤 洋一 さん
(雄川大学 学生)

議場へ
ようこそ!

雄川大学の皆さんが市議会を傍聴した様子は、12月22日放送の「もっと教えて！横手市議会」で放送しました。
放送内容は横手市議会ホームページからお聴きいただけます。



議会の主な動き

10月

- 1日 広報分科会
- 4日 市制施行20周年記念式典、厚木市議会・那珂市議会友好都市議長交流会
- 6日 秋田県議会教育公安委員会行政視察受け入れ(～7日)
- 7日 秋田県議会福祉環境委員会行政視察受け入れ
三重県津市議会行政視察受け入れ
- 8日 沖縄県中城村議会行政視察受け入れ
- 16日 山形県山形市議会行政視察受け入れ
- 20日 東京都荒川区議会行政視察受け入れ
- 21日 新議員説明会
- 24日 世話人会議
- 27日 会派代表者会議
- 30日 会派代表者会議、全員協議会(議案説明会)、新議員説明会

11月

- 4日 市議会11月臨時会【P8】
- 6日 沖縄県沖縄市議会行政視察受け入れ
- 7日 産業建設常任委員会協議会
- 10日 福島県喜多方市議会行政視察受け入れ
- 11日 兵庫県洲本市議会行政視察受け入れ
- 12日 富山県氷見市議会行政視察受け入れ、広報分科会
- 13日 埼玉県さいたま市議会行政視察受け入れ、新議員に対する経過説明会
- 14日 総務文教常任委員会協議会、全員協議会(行政課題説明会)、議会運営委員会、広聴分科会
- 17日 埼玉県所沢市議会行政視察受け入れ
- 18日 厚生常任委員会協議会
- 19日 会派代表者会議、産業建設常任委員会協議会
- 26日 正副委員長会議、議会運営委員会、各委員会正副委員長会議、全員協議会(議案説明会、行政課題説明会)、広報分科会

12月

- 2日 市議会12月定例会(～12月19日)【P2～7、9～13】、全員協議会(行政課題説明会)
- 5日 広報分科会
- 10日 議会運営委員会
- 11日 全員協議会(議案説明会、行政課題説明会)
- 17日 正副委員長会議、議会運営委員会
- 18日 広報分科会
- 19日 全員協議会、議会改革推進会議、広聴分科会
- 24日 広報分科会



令和7年度行政視察受入状況

さまざまな行政課題を解決するため、先進的な取組を行っている全国の自治体を実際に訪問し、調査研究を行うのが「行政視察」です。横手市議会でも、全国からたくさんの行政視察を受け入れており、今年度の受入実績をご報告いたします。

令和7年度受入実績
21議会／延べ177人



園芸振興拠点センターを視察する新潟県南魚沼市議会の皆さん

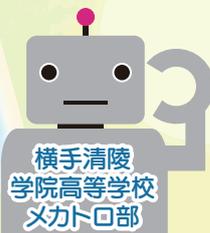
視察テーマトップ3

- ①よこて農業創生大学事業／6次産業化について／食と農からのまちづくりについて 4件
- ②横手市増田まんが美術館 3件
- ③横手市生涯学習館Aō-na 2件
- シームレス避難所システムについて 2件
- 健康の駅よこてについて 2件
- クリーンプラザよこて 2件

その他

- ・水道広域化事業について
- ・ひきこもり支援施策について など

青春 キャンパス色



皆さん、こんにちは！横手清陵学院高校メカトロ部です。メカトロ部では1年生8人、2年生2人、3年生3人の計13人で活動しています。

今年度は毎年参加している高校生ロボット競技大会に向けて、ロボット製作と操作練習を積み重ねてきました。ロボットの出来は良かったものの、本番でロボットが故障してしまったため、残念ながら全国大会に出場することができませんでした。10月には、宇宙エレベーターロボット競技会に参加しました。3チームに分かれて参加し、皆で技術とアイデアを交換し合い、東北大会で上位を独占しました。また、全国大会でそれぞれ2位、4位、6位に入賞することができました。

ボランティア活動では、古い車椅子を修理して海外に寄付する活動に参加しています。また、ふるさと村や全国線香花火大会での展示・ロボット操作体験を行い、地域のイベントにも積極的に参加しています。

今後も、部員全員で切磋琢磨し合い、知識や技術を学び、地域に貢献する、そんなメカトロ部でありたいと思います。

横手清陵学院高等学校メカトロ部 部長 小松 湊悟



高校生ロボット競技大会の様子

横手がまくらFMで市議会情報を知ろう！

横手市議会では、市議会の活動や取組を議員自らの声で紹介するFM番組「もっと教えて！横手市議会」を放送しています。

また、各定例会開催時には、市長の所信説明や議員の一般質問の様子を放送するとともに、定例会最終日や臨時会当日の夕方には、会議の結果もお知らせしています。ぜひお聴きください。

好評放送中

横手がまくらFM 77.4MHz
もっと教えて！横手市議会
毎月第2・4月曜日 午前10時40分～
再放送：翌火曜日 午前7時30分～



市議会ホームページで過去の放送内容をお聴きいただけます。



今後の放送予定

2/9 議会だより高校生モニター意見交換会

「高校生議会だよりモニター」としてご協力いただいている雄物川高等学校生徒会の皆さんとの意見交換会の模様をお送りします。前回（令和6年度）の開催では、高校生の目線から、「読みたくない記事」や「読みたくない記事」などについて鋭い指摘をたくさんいただきました。

どんな話題が飛び出すか、乞うご期待！



前回の高校生モニター意見交換会

分かりにくい議会用語などはこちらで解説しています



分かりにくい議会用語が他にもございましたら、議会事務局までお知らせ願います。

横手市議会公式 Facebook ページ



タイムリーに情報発信中 ページへの いいね！ お待ちしています。

編集後記

議会だよりを通じ、市議会の活動を皆様にお伝えすることは、私たちの大切な責務です。市民の皆様にご信頼していただける、開かれた議会を実現するため、今後も情報公開に努めてまいります。(石岡 恵美子)

広報広聴委員会 広報分科会

分科会長 江上 善一 副分科会長 石岡恵美子
委員 土谷 久男 土田百合子 青山 豊
築山 智 加藤 司